

スマイル②



No.14

令和4年2月4日
平戸市立中部中学校
養護教諭 江下聖奈

1月25日、避難訓練を行いました。今回は、地震と土砂災害の訓練です。新型コロナウイルス感染症対策のため、各学年で避難をしました。また、地震や土砂災害について気象庁の教材で学び、その後は、自分が住んでいる地域のハザードマップの確認を行いました。自分が住んでいる地域には、どのような危険があるのか、避難する場所はどこなのか、各自、調べました。生徒たちの感想の一部を紹介します。



中部中の裏の方は、土砂災害のリスクが高いことが分かりました。避難訓練をしてみて、自分の身を守る時に頭を一番に守ったらよいということが分かりました。
1年 松山 玖美

日本は災害が起きる可能性があるし、いつ起こるか分からないから、日頃からハザードマップを見て避難場所や避難経路を確認したり、非常用の荷物を準備しておくことが大事だと心の底から思った。
1年 川口 夢心



避難訓練をした時に、上に電気や落ちてきそうな物がないかを意識して見ると、意外と沢山あったり、階段や段差が沢山あったので危ないと思った。ハザードマップでは、家には危険がないと書かれていたけれど、家の裏には山があり土砂崩れが心配だと思った。
1年 八木原 理央

自宅には土砂災害と地すべりの危険がありました。確かに家の裏にはいつ崩れてもおかしくない山があるし、その山が崩れたら家が巻き込まれるので、雨の日には気を付けようと思いました。近くにある川は警戒しなくても大丈夫のようでした。平戸高校は、警戒区域になっておらず、たぶん安全なので避難は平高にします。
2年 赤木 未羽

自宅の区域で土砂災害のリスクがあるなんて知りませんでした。避難場所は紐差小学校が近いけど、小学校の横には川があり、洪水が起こる危険性が高いので、災害の種類に応じた避難場所に避難したいと思います。今日知って、学んだことを家族に伝えて、大切な家族の命を守りたいです。
2年 川上 琴心



身近に危険なところが沢山あったので、あまり被害がないと書かれていた自分の家も危険なんだなと思いました。獅子には、急傾斜地があったり、地すべりも広範囲で起きると書かれていたので心配です。でもうちは、非常用持ち出しの準備をしているので、それだけでもしてよかったです。
2年 山口 春帆

津波や土砂で流されたり、潰されたりしていて、改めて自然の怖さを知った。日頃からどういう災害があったら、どう行動するかを考える必要があると思った。自然の力は、人が造り出したものを簡単に壊せるんだなと思った。
3年 立木 清敬

災害リスクはなかったけれど、万が一があるので、日頃から災害に関心を持って、命を守れるように家族と話し合っ、どこに避難するか、どこが危険なのかを考えて災害に備えていきたい。初めて土砂災害の避難訓練をして、火災や津波だけでなく土砂災害も身近にある危険だなと思った。
3年 松尾 優羽

自分の住んでいる場所が地すべりの警戒区域だと分かった。避難とかは考えていたけれど、こういったことを調べると、より当事者であるという意識が高まった。
3年 本山 翔流



裏面に、非常持ち出し品チェックシートを載せています。